

【やままゆ連・手作りカフェー】

～ 稲縄ないと釜敷き作り ～

4月5日(土) 10:00～12:00 西緑地・中央広場

桜、レンギョウ、雪柳、花蘇芳、チューリップ、菜の花 etc、若葉の緑も爽やかな能ヶ谷西緑地で、稲藁で縄を織り、釜敷き作りに挑戦しました。

40～50年前までは鶴川周辺でも田んぼでお米を作り羽釜でご飯を炊く家庭も多く、三輪の農家に育った私には今回のテーマは懐かしくも見慣れたことでした。でも実際には色々なテクニックが必要なこと分かり、大いに苦戦しました。

先ず縄を織り始める前にすっきりした稲藁を選び出し、水で十分に湿らせ藁を柔らかくする。今回、稲藁二本取り計4本で織り、繋ぎを交互に足しながら、絞りも加え織り進み、なんとか縄らしいモノが出来ました。

釜敷きは、稲わらを輪にして芯とし、織った縄をボタンホールステッチに似た編み方で一周します。

この日10時半頃から急に空模様が怪しくなり、桜の時期

特有の気候不順の雨に降られて作業は中断となりましたが、その後インターネットで情報集め復習しながら作りました。

(斎藤光代)



←昔を思い出しながら作りました



こんな風に使います→